

平成29年度第1回「佐世保市行財政改革推進会議（部会）」

〔名簿・議事要旨〕

■日時：平成29年8月1日（火）15:30～17:30

■場所：佐世保市役所本庁4階 会議室

■委員の出欠状況：出席者3名（欠席者1名）

〔順不同・敬称略〕

氏名	所属団体
おかみつまさ 岡 光正	佐世保商工会議所 議員
たきともりのり 滝 知則	長崎国際大学 人間社会学部 教授

氏名	所属団体
つな たつゆき 綱 辰幸（ご欠席）	長崎県立大学 地域創造学部 教授（学部長）
つるた たかあき 鶴田 貴明	公益財団法人 ながさき地域政策研究所 調査研究課長

H29. 8. 1 行財政改革推進会議 第 1 回部会 (議事要旨)

(1) 「第 6 次佐世保市行財政改革推進計画[前期プラン]」の取組実績について

質疑・意見等	応答
○前期プランでは十分な効果が出ていると思うが、具体的な事例で説明して欲しい。	◆歳入、歳出についてそれぞれ具体例と効果額について説明

(2) 「第 6 次佐世保市行財政改革推進計画[後期プラン]」の今後の推進について

質疑・意見等	応答
○改革工程表における事業別の効果額の記載があるが、その事業の予算額が分からないので、具体性に欠けるのではないか。次回以降でよいので予算額との比較ができるようにして欲しい。	◆第二次改革工程表以降は積み上げの金額で効果を表すことが可能になると思われるので、示し方や説明について工夫してみたい。
○税等の滞納に対する現状、今後の対応について。	◆税部門における地区担当制及び臨戸訪問の廃止、債権管理対策室の設置による、税以外の強制徴収債権分野への徴収ノウハウ等の共有化等について説明。
○市役所 1 階総合窓口における削減効果について。	◆窓口における委託業務拡大及びシステム更新により 3.5 名分が削減できた。
○非常勤職員等の確保が困難になっているのではないか。 ○将来の経済動向や人口減少に関する労働環境の検証が必要ではないか。 ○若年層の採用、再任用の状況、定年延長等に関する考え方について。 ○AI 技術の進化等を見据えた対応について。	◆雇用期間の制約等があり、確保は難しくなっている。 ◆国によるトップランナー方式への対応も必要なことから民間の状況を確認しつつ進めたい。 ◆再任用と新規採用のバランスについては制度導入時から議論となっており、現在国において公務員制度として定年延長・役

	職定年等の議論がなされていることから AI も含めて注視していきたい。
○削減効果だけでなく、借地等の活用における税収や経済波及効果の算定を盛り込むべきではないか。	◆後期プランは中期財政計画における財源不足をベースとしていることから、具体の数字ではない効果の見込みの反映は困難であるが、税収については改革経費を重点プロジェクトへ投入することによる経済浮揚効果として2%増を見込んでいる。
市有財産等の活用による財源の確保策について	
クルーズ船、ふるさと納税について <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ客の囲い込み方策構築の必要性 ・ふるさと納税の現況及び見通し 	
○市民協働におけるコミュニティセンターの役割と施設の集約のバランス等について。 ○コミュニティ概念の変化について。(数値設定の困難性について) ○コミュニティにおける目的と事例等の具体化について。 ○コミュニティによるサービス実行と行政による枠組み支援について。	◆現状ではコミュニティセンター構築に向けた取り組み状況であり、具体的活動内容については検討予定。 コミュニティ構築は第6次行財政改革推進計画における継続的取り組みであり、削減以外の効果についても含めた検討が必要。
○市営住宅の現状と、公共施設適正配置・保全計画及び後期プランとの関係性について。	◆市営住宅は特別会計による管理を行っており、集約化・長寿命化等について個別の計画で対応している。赤字事業とはなっていないことから、後期プランにおいては現状維持で算定している。